

安全作業手順書【路面清掃A（名二環）】



セーフティーバイブル

見積もり基準をした危険性の評価				
重大性	見積もり基準をした危険性の評価			
	軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)	
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	△△ (かなり小さい)	×× (中程度)	
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△△ (かなり小さい)	△△△ (中程度)	△× (かなり大きい)	
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×× (中程度)	×△ (かなり大きい)	××× (極めて重大)	

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛島北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具 ・車両	スウィーパー	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ ゴム手袋、軍手、

作業区分		作業手順・作業内容		急所		危険ポイント (~なので~になる)			リスクの見積り (A) (B) リスク			安全対策(危険度2以下へ) (私達はこうする)			リスクの再見積り (A) (B) リスク		
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	安全打合書を用いて	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1						
		作業員の役割(運転手、助手)を確認する	安全打合書を用いて	/	/	/	/	/	/	/	/						
		作業車線を確認する	行程表を用いて	/	/	/	/	/	/	/	/						
作業車両準備	スウィーパーの燃料量を確認する スウィーパーへ給水する 作業車線側の吸引口蓋を確認する ブラシ設置巾を調整する 各作業装置の駆動等の状況を点検する 車両の点検を行う	必ず車両のメーターを見て	必ず車両のメーターを見て	誤って塩水を給水する	△	△	3	2人以上で水槽バルブの切替え確認を行なう	○	○	1						
		水槽バルブを常に注視しながら	水槽バルブを常に注視しながら	十分に吸水せず、砂塵が立ったり飛石が発生する	○	×	3	吸水状況を確認してから出発する	○	○	1						
		ホッパーが上がっていることを確認し 設置面からの高さに十分気をつけて 最小回転数で	ホッパーが上がっていることを確認し 設置面からの高さに十分気をつけて 最小回転数で	各部品のボルトに緩みが生じ、走行中に落下する カバー設置位置が高く、飛石が発生する	○	×	3	出発前に必ず車両点検する 出発前に高さを十分に確認する	○	○	1						
出発準備	出発時間の打合せをする 50km/h速度制限標の切替時間を確認する	高速隊担当者 と 高速隊担当者 と	/	/	/	/	工程表を必ず提出すること /	/	/	/							
本作業	出発	基地等、敷地内から車道へと進入する	周囲の安全を補助員と共にしっかり確認して	確認不足により一般車両及び人と接触する	△	×	4	余裕を持って慎重に車道へ流出する	○	△	2						
		目的地へ回送する	法定速度を守って	速度超過により事故を起こす	△	×	4	車名及び名二環の法定速度を必ず守って走行する	○	△	2						
		路肩移動	低回転、低速度に設定して、ブラシの張り出しを行う 走行移動させる 一宮道路管制センターに連絡し、情報板の点灯を依頼する	周囲の安全をミラー、助手による目視確認を行い C清掃車両との車間十分に注意して 作業区間通過ごとに	ブラシを張り出す際に、確認が不十分となり 一般車や道路付属物に接触する 散水忘れにより砂埃がたつ	○	×	3	運転手だけでなく、助手も含め 十分に周囲を確認してからブラシの張り出しを行う 必ず助手と運転手二人で、 操作の確認を行いながら作業する	○	○	1					
車線転換時	①周囲の安全をミラー、助手による目視確認を行い ②後続車両との離隔に十分注意して	①周囲の安全をミラー、助手による目視確認を行い ②後続車両との離隔に十分注意して	確認不足により一般車両及び人と接触する 車線転換時に一般車への飛石が発生する	△	×	4	余裕を持って慎重に車道へ流出する 転換時に一般走行車両との離隔を十分に確保して、 離隔が得られない場合は、無理に転換せず回送させる	○	△	2							
巡回時	点検	車体に小石等の飛散物が無いか点検する タイヤに釘、小石等の挟まり、刺さりが無いか点検する	周囲状況に注意しながら 周囲状況に注意しながら	タイヤの間に挟まった小石等が 走行中に飛散する	△	×	4	必ずタイヤの点検を適時行う	○	△	2						
帰着	敷地内進入	車道から敷地内へ進入する	後続車の様子を確認しながら	減速した後続車両が気づかず、追突される	△	×	4	必ず後方の確認を行いながら進入する	○	○	1						
	駐車	駐車する	バックによる駐車の際は、必ず補助員のバック誘導に従い	バック誘導員を配置せず、後方確認が十分で 他車両・設備・人等に接触する	×	△	4	必ずバック誘導員を配置し、後方及び 周囲の確認を行いながら駐車する	○	△	2						
後片付け	検量	三好ICにて検量を行う	周囲の車両に十分注意して	減速した後続車両が気づかず、追突される	△	×	4	必ず後方及び周囲を確認しながら検量する	○	○	1						
	洗車準備	豊田基地にて土砂を下ろす 水タンクの残水を抜く	安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して 安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して	作業時、車両・ホッパーが動き出し接触する 作業時、車両・ホッパーが動き出し接触する	○	×	3	必ず二名以上で互いに確認をしながら作業する 必ず二名以上で互いに確認をしながら作業する	○	○	1						
	洗車	車体・ホッパー・機械部を洗浄する	安全ストッパー、輪留めがかかっているか確認して	洗車時、車両・ホッパーが動き出し接触する	○	×	3	必ず二名以上で互いに確認をしながら洗車する	○	○	1						
	点検	車両各部・燃料等の点検・確認を行う	車両点検表に則って	清掃時着脱した部品が走行中に落下し、第三者被害となる	△	×	4	必ず車両チェックリストに基づき始業前及び使用後に点 検を行う	○	○	1						
	後処理	日報作成	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/						